



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 テクノクオーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5217 URL <http://www.techno-q.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 園田 育伸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 岸 慎二 (TEL) 03-5354-8171
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	9,082	△0.4	1,419	△13.9	1,480	△13.1	992	△14.5
2019年3月期	9,121	15.7	1,648	45.7	1,704	54.7	1,161	33.9

(注) 包括利益 2020年3月期 924百万円(△4.7%) 2019年3月期 970百万円(5.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	1,283.38	—	10.7	11.7	15.6
2019年3月期	1,501.34	—	13.7	14.9	18.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,318	9,705	72.9	12,546.39
2019年3月期	12,029	8,897	74.0	11,500.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,705百万円 2019年3月期 8,897百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,580	△512	325	3,055
2019年3月期	1,232	△863	△152	1,664

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00	116	10.0	1.3
2020年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00	116	11.7	1.2
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	150.00	150.00		11.2	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	3.8	720	△2.0	716	△7.5	506	△8.5	654.99
通期	9,400	3.5	1,470	3.6	1,462	△1.2	1,035	4.3	1,338.50

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	780,000株	2019年3月期	780,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	6,467株	2019年3月期	6,365株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	773,563株	2019年3月期	773,635株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,291	△1.5	1,039	△12.9	1,568	26.0	1,196	40.6
2019年3月期	8,413	11.9	1,193	51.8	1,245	56.7	850	30.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	1,546.46		—					
2019年3月期	1,099.49		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	12,674		8,984		70.9		11,615.23	
2019年3月期	11,029		7,894		71.6		10,203.99	

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,984百万円 2019年3月期 7,894百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)におけるわが国経済を概観すると、期初から2019年末頃までは、米国の保護主義への傾斜とそれに端を発した貿易摩擦の激化、英国のEU離脱、金融資本市場の混乱、消費税増税等による先行き不透明感から、企業業績の下振れが懸念される局面もありましたが、雇用環境は引き続き良好であり、人手不足を背景に合理化・省力化投資等を中心とした旺盛な設備投資需要や、東京オリンピック開催への期待感等にも支えられ、企業業績は堅調に推移していました。しかしながら、2020年に入り、2月頃から顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で状況は一変、インバウンド消費の急減や外出の自粛により、特に宿泊・飲食・旅行・航空等、対個人サービス関連企業を中心に、業況は急激に悪化している状況です。

一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、2018年秋以降、米中貿易摩擦等の影響から、メモリー投資の減速、データセンター関連需要の低迷等、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いていましたが、2019年秋頃から、半導体メーカーおよび半導体製造装置メーカー各社の将来見通しが上昇基調に転じ、踊り場局面からの脱却も十分視野に入る状況でした。しかしながら、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がる中、足元ではスマートフォンや自動車等の最終製品の生産が停滞または需要が低迷したことで、半導体メーカーの売上見通しの下方修正が相次ぐ一方で、データセンターなどのインフラ需要は、今回の「コロナショック」を契機に拡大すると見られており、マイナス要素とプラス要素が入り乱れる形となっています。

このような環境の中、当社では、これまでに蓄えた豊富な受注残高を背景に、原材料の多様化等による原価率低減も相俟って、売上・利益ともに通期計画を達成することができました。また、受注残高につきましては、年度後半から拡大傾向に転じ、足元では過去最高レベルの水準に達している状況です。なお、当社における新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、中国子会社も含め、現時点で大きな問題は発生しておりませんが、今後不測の事態を想定した上で、事業継続に向けて必要な対応を実施して参ります。

以上の結果、売上高は9,082百万円(前連結会計年度比0.4%減)、営業利益は1,419百万円(同13.9%減)、経常利益は1,480百万円(同13.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は992百万円(同14.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の状況)

当連結会計年度末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ1,289百万円増加して13,318百万円となりました。主な要因は現金及び預金が1,376百万円増加し、有形固定資産が140百万円減少したことなどによるものであります。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ481百万円増加して3,613百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が185百万円、長期借入金が379百万円それぞれ増加し、未払法人税等が138百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ807百万円増加して9,705百万円となりました。主な要因は利益剰余金が876百万円増加し、為替換算調整勘定が79百万円減少したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は72.9%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,391百万円増加し3,055百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,580百万円(前連結会計年度に対して347百万円の増加)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益1,435百万円の計上、減価償却費573百万円、売上債権の減少64百万円、たな卸資産の増加39百万円、仕入債務の増加55百万円、法人税等の支払569百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△512百万円(前連結会計年度に対して350百万円の増加)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出337百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは325百万円(前連結会計年度に対して477百万円の増加)となりました。

これは主に長期借入れによる収入700百万円、長期借入金の返済による支出220百万円、配当金の支払額115百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	78.9	75.5	73.3	74.0	72.9
時価ベースの 自己資本比率(%)	42.0	69.1	77.7	44.2	59.5
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(年)	1.3	1.7	2.7	1.2	1.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	67.9	77.2	55.6	117.6	153.6

自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2020年度のおわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要の低迷やサービス消費の低下、企業収益の悪化を受けた設備投資の減少等から、少なくとも年度前半は景気の落ち込みが避けられないものと思われま

す。半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染症によるマクロ経済の低迷に引き擦られて落ち込む局面もあると予想されますが、一方で、「コロナショック」を契機に本格化した、世界的なリモートワークの広がりやデータセンター等メモリー需要の高まりなど、プラス要因も強いと見込まれます。また、既に一部で始まっている5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加が見込まれ、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくものと予想されます。

当社グループの受注環境は、足元では過去最高レベルの水準に達しておりますが、加えて、上記理由から中長期的な受注拡大の見通しは変えておりません。

このような状況下、当社グループは、売上高100億円体制の構築に向けて、既存のお取引先との深耕を図ると共に、新規のお取引先の需要の掘り起こしに努めます。また、従来からの微細化投資に加え、今後の需要拡大を見越して、国内および中国子会社工場において、増産体制構築のための設備投資を順次進めて参ります。

以上のことから、2021年3月期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の通期連結業績予想につきましては、売上高9,400百万円(前連結会計年度比3.5%増)、営業利益1,470百万円(同3.6%増)、経常利益1,462百万円(同1.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,035百万円(同4.3%増)を見込んでおります。

なお、上記の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が一定期間で収束に向かうと仮定したものであり、状況により変動する可能性があります。業績予想修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示致します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870,174	3,246,736
受取手形及び売掛金	2,814,484	2,737,698
製品	387,332	352,136
仕掛品	906,695	1,086,481
原材料及び貯蔵品	972,801	848,189
その他	127,494	74,923
貸倒引当金	△3,569	△3,344
流動資産合計	7,075,412	8,342,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,873,229	3,961,866
減価償却累計額	△2,589,546	△2,599,501
建物及び構築物（純額）	1,283,682	1,362,365
機械装置及び運搬具	5,480,856	5,568,707
減価償却累計額	△3,674,502	△3,922,584
機械装置及び運搬具（純額）	1,806,354	1,646,123
土地	1,147,762	1,147,762
リース資産	290,772	290,772
減価償却累計額	△38,560	△73,312
リース資産（純額）	252,211	217,459
建設仮勘定	64,965	9,593
その他	444,130	517,003
減価償却累計額	△341,416	△382,836
その他（純額）	102,714	134,166
有形固定資産合計	4,657,689	4,517,469
無形固定資産	49,343	57,282
投資その他の資産		
投資有価証券	60,468	43,934
長期貸付金	7,561	6,453
繰延税金資産	48,132	43,534
その他	131,667	308,274
貸倒引当金	△979	△874
投資その他の資産合計	246,849	401,321
固定資産合計	4,953,883	4,976,074
資産合計	12,029,295	13,318,895

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	528,334	714,070
短期借入金	937,228	1,037,188
リース債務	37,532	37,017
未払法人税等	350,451	211,921
賞与引当金	111,909	130,579
その他	256,451	237,611
流動負債合計	2,221,907	2,368,387
固定負債		
長期借入金	533,337	912,829
リース債務	234,855	197,848
役員退職慰労引当金	32,748	18,575
退職給付に係る負債	108,126	115,284
資産除去債務	922	922
固定負債合計	909,990	1,245,460
負債合計	3,131,898	3,613,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,350	829,350
資本剰余金	1,015,260	1,015,260
利益剰余金	6,807,892	7,684,625
自己株式	△34,809	△35,473
株主資本合計	8,617,694	9,493,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,517	△2,486
為替換算調整勘定	293,220	213,770
その他の包括利益累計額合計	279,703	211,283
純資産合計	8,897,397	9,705,046
負債純資産合計	12,029,295	13,318,895

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	9,121,402	9,082,754
売上原価	6,344,361	6,511,620
売上総利益	2,777,041	2,571,133
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	257,888	268,810
賞与引当金繰入額	30,511	35,442
退職給付費用	11,000	12,578
役員退職慰労引当金繰入額	6,002	12,370
その他	823,487	822,792
販売費及び一般管理費合計	1,128,890	1,151,994
営業利益	1,648,150	1,419,139
営業外収益		
受取利息	747	942
受取配当金	1,415	1,182
保険返戻金	1,519	4,223
補助金収入	13,727	20,583
還付金収入	—	23,358
為替差益	52,645	16,879
その他	5,049	4,364
営業外収益合計	75,106	71,534
営業外費用		
支払利息	10,623	10,163
債務勘定整理損	7,868	—
その他	658	303
営業外費用合計	19,149	10,467
経常利益	1,704,107	1,480,205
特別利益		
固定資産売却益	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	28,277	17,679
投資有価証券評価損	—	27,501
特別損失合計	28,277	45,180
税金等調整前当期純利益	1,676,029	1,435,025
法人税、住民税及び事業税	504,113	437,648
法人税等調整額	10,426	4,597
法人税等合計	514,540	442,246
当期純利益	1,161,489	992,778
親会社株主に帰属する当期純利益	1,161,489	992,778

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,161,489	992,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,378	11,030
為替換算調整勘定	△171,944	△79,450
その他の包括利益合計	△191,323	△68,420
包括利益	970,165	924,358
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	970,165	924,358

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	829,350	1,015,260	5,723,767	△34,809	7,533,568
当期変動額					
剰余金の配当			△77,363		△77,363
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,161,489		1,161,489
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,084,125	—	1,084,125
当期末残高	829,350	1,015,260	6,807,892	△34,809	8,617,694

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	5,861	465,165	471,027	8,004,595
当期変動額				
剰余金の配当				△77,363
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,161,489
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△19,378	△171,944	△191,323	△191,323
当期変動額合計	△19,378	△171,944	△191,323	892,802
当期末残高	△13,517	293,220	279,703	8,897,397

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	829,350	1,015,260	6,807,892	△34,809	8,617,694
当期変動額					
剰余金の配当			△116,045		△116,045
親会社株主に帰属する 当期純利益			992,778		992,778
自己株式の取得				△664	△664
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	876,733	△664	876,069
当期末残高	829,350	1,015,260	7,684,625	△35,473	9,493,763

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△13,517	293,220	279,703	8,897,397
当期変動額				
剰余金の配当				△116,045
親会社株主に帰属する 当期純利益				992,778
自己株式の取得				△664
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	11,030	△79,450	△68,420	△68,420
当期変動額合計	11,030	△79,450	△68,420	807,648
当期末残高	△2,486	213,770	211,283	9,705,046

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,676,029	1,435,025
減価償却費	539,600	573,477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	600	△266
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,121	18,670
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,028	7,157
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,346	△14,173
受取利息及び受取配当金	△2,163	△2,124
支払利息	10,623	10,163
為替差損益 (△は益)	△19,258	△15,375
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	27,501
固定資産売却損益 (△は益)	△199	—
固定資産除却損	28,277	17,679
売上債権の増減額 (△は増加)	△264,213	64,499
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△499,634	△39,906
仕入債務の増減額 (△は減少)	68,776	55,722
その他	63,091	19,950
小計	1,614,026	2,158,001
利息及び配当金の受取額	2,163	2,138
利息の支払額	△10,479	△10,293
法人税等の支払額	△372,994	△569,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,232,716	1,580,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△156,000	△151,000
定期預金の払戻による収入	108,000	166,000
有形固定資産の取得による支出	△793,149	△337,735
有形固定資産の売却による収入	200	—
無形固定資産の取得による支出	△11,223	△12,893
貸付けによる支出	△5,400	—
貸付金の回収による収入	1,684	1,108
その他	△7,166	△178,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863,055	△512,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△202,909	△220,548
自己株式の取得による支出	—	△664
リース債務の返済による支出	△22,144	△37,522
配当金の支払額	△77,286	△115,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,340	325,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,897	△1,478
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	200,423	1,391,562
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,750	1,664,174
現金及び現金同等物の期末残高	1,664,174	3,055,736

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、半導体事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	11,500円77銭	12,546円39銭
1株当たり当期純利益	1,501円34銭	1,283円38銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,161,489	992,778
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,161,489	992,778
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	773,635	773,563

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは半導体事業の単一セグメントであります。

① 生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	8,987,290	△2.7

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 金額は消費税等を含んでおりません。

② 受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,523,351	10.4	3,610,547	13.9

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。

③ 販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,082,754	△0.4

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。